

日時

2018年2月10日(土)
13:00~17:30

会場

ウィルあいち 3F 会議室4
愛知県名古屋市東区上堅杉町1
(地下鉄「市役所」駅 2番出口より東へ徒歩約10分)

定員

20人(先着順、要事前申込み)

参加費

無料



Nたま
15期生

次世代のNGOを育てる、コミュニティ・カレッジ
(通称:Nたま)2017



NGOのたまご

研修生の修了式

ぜひお越しください!



2017年7月29日の入学式から、早いもので約6ヶ月を迎えます。研修を通してNGOの第一線で活躍している方々に出会い、考えや想いに触れ、NGOとして活動することはどういうことなのかを学んできたNたま15期生たち。仕事や学業の間に時間をつくり、インターンシップやグループでの自主企画にも取り組みました。修了式では、研修で得た学びや気づき、成果を、研修生自身が発表します。

NGOや国際協力の分野に関心のある方を始め、多くの方のご参加をお待ちしております。

修了式次第

- 13:00~ あいさつ/研修の様子を紹介
- 13:30~ 研修生のスピーチ
※一人発表5分、質疑応答5分
- 16:00~ 自主企画の発表(3グループ)
- 17:00~ インターン受入団体からのコメント
- 17:30 終了

※修了式には、研修中にお世話になった講師やインターン受け入れNGOのスタッフにも参加して頂く予定です。

本コミュニティ・カレッジは、本年度で15回目の開催です。NGOのたまご、通称「Nたま」と呼ばれ、現在まで204名が受講し、のべ116名がNGO・NPOスタッフ(有給職員・無給ボランティア含む)として羽ばたいています。

申込み&問合せ先

(特活)名古屋NGOセンター

愛知県名古屋市中区新栄町2-3 YWCAビル7F
TEL&FAX:052-228-8109 (受付時間:火~土曜日 13時~17時)
Mail:info@nangoc.org
〈申込締切:2月9日(金)17:00〉

Nたま
15期生

次世代のNGOを育てる、コミュニティ・カレッジ
(通称:Nたま) 2017

研修生のご紹介

※研修生のコメントは、毎回の研修の終わりに書いた「振り返りシート」から抜粋しています。



おおその りこ
大園 莉子さん

AHI合宿でのNPO訪問を通して、どの団体も取り組んでいる課題は異なるけれど課題の根本にはつながるところがあると感じました。ワークショップから「共感する」ことの大切さを学ぶことができました。



たなか ゆきお
田中 幸男さん
インターン先:
(特活)泉京・垂井

NGOの原点は自分(個人)の想いにあることを再確認できました。100年以上前からあった戦争が今もなくなっていないのはなぜだろうか。100年でなくなるもののは後100年でなくせるのかな。研修の中で少しだけ希望が大きくなりました。



やまだ てつぺい
山田 哲平さん
インターン先:
(一財)
日本国際飢餓対策機構

自主企画の企画書の作成が大変難しいと感じました。他の方からの意見、専門家からの意見を聞いて、現実問題として何をするか、誰にするかをしっかり練らなければならないのだと思いました。



かわむら いっせい
川村 壹征さん

自主企画での話し合いの時に、最初は頭が痛くなるほど悩んでも全然ビジョンが湧かなかったのですが、グループで話し合う中で、アイデアが一つひとつ出ていって、一步一步近づいていくのがとても嬉しかったです。



ひさだ なつみ
久田 夏未さん

今後の生き方について考えていたところだったので、「どういう問題と向き合い、どういう選択をするかが、自分の生き方を創っていくことにもつながる」という言葉が印象に残りました。



おおた あやな
太田 彩菜さん

人との関わりは生きる上での基本だと思いました。日本も世界も人が生活しているという意味では同じで、課題もつながっている部分があるということに気づくことができました。



こんどう あいり
近藤 愛里さん

Take Sides(誰の側に立って共に歩むか)ということをしかりと自分で意識しながら行動していきたいです。地域に住んでいる人がまず課題に気付く行動していく大切さを知ることができました。



やました たつや
山下 達矢さん
インターン先:
(特活)チェルノブイリ
救援・中部

社会課題に取り組むときに「私が解決できると思う」ことで話し方も成果も全く異なるのだと学びました。また最初に立てた目標を振り返ることで新しい考えが発見できたので、振り返りが大切だということも分かりました。



たかだ のぶひで
高田 信英さん

高山研修の街歩きでは、普段何も考えずに通っていた道や、人々がどんな想いを抱いているのか、大切にしているものは何かなどと、想像をするようになりました。何事も「自分ごと」として捉えることが大切だと思いました。



ほたなか じゅんや
畠中 順也さん

よく考えて、決意したら、実行に移すことの大切さを、団体の創始者の行動を見て思いました。必要としている人(対象者)のニーズを的確につかむことが重要であるということも学びました。